

beyond2020プログラムは日本文化の魅力を発信するとともに、**2020年以降を見据えたレガシー創出のための文化プログラム**です。

2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを「beyond2020プログラム」として認証します。

beyond2020プログラムの認証要件

- ① 日本文化の魅力を発信する事業・活動
- ② 多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ事業・活動
 - 障害者にとってのバリアを取り除く取組
 - 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

申請はCulture Nippon又は文化庁ホームページへ

申請方法は、各ホームページからご確認ください。

▶文化庁ホームページ <http://www.bunka.go.jp>

【お問合せ】文化庁 beyond2020プログラム事務局 TEL: 03-5657-0684



文化プログラム発信!

～文化情報プラットフォームに登録して、あなたの文化イベントを国内外に～

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、全国各地で文化プログラムを実施することが期待されています。文化庁では全国各地の文化プログラム等に関する情報を集約・発信する「文化情報プラットフォーム」の構築・運用に取り組んでいます。

文化情報プラットフォームとは

日本全国で行われる文化プログラム(イベント)、文化施設などの情報を登録・発信するための共通の枠組みです。

東京2020大会に向けた文化プログラムの枠組

	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議
プログラム	東京2020文化オリンピックアード	beyond2020プログラム
	東京2020公認文化オリンピックアード	
概要	「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式文化プログラム 東京大会の主なステークホルダー等が大会ビジョンの実現に相応しい文化芸術性の高い事業を実施	「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式文化プログラム 非営利団体等がオリンピック・パラリンピックムーブメントを裾野まで広げる事業を実施 <small>※オリンピック・パラリンピックの文言使用は不可</small>
実施主体	組織委員会、国、開催都市、会場所在地地方公共団体、 <u>公式スポンサー</u> 、JOC、JPC	会場所在地以外の地方公共団体、 <u>独立行政法人を含む非営利団体</u>
ロゴマーク	文化オリンピックアード	beyond 2020

東京2020文化オリンピックアード(東京2020参画プログラム)の申請は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の公式サイトをご参照ください。
<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/certification/> 【お問合せ】東京2020参画プログラムコールセンター TEL:0570-00-6620



文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室 TEL: 03-5253-4111(代表)

登録のメリット

- 1 登録された情報は、文化庁の運営するポータルサイト“Culture Nippon”に掲載され、広く国内外に発信されます。
- 2 登録された情報は将来的にオープンデータとして提供され、民間事業者等が登録された情報を様々なサービスに活用されることが期待されます。
- 3 情報を登録するだけで、機械翻訳機能により、多言語対応がおこなえます。
- 4 文化プログラム(beyond2020プログラム)の申請が簡単におこなえます。

登録が期待される情報

- 美術館、博物館で行われる展覧会、ワークショップ、劇場、音楽堂等で行われるコンサート、公演
- 地域の祭りや伝統行事からピエンナーレやトリエンナーレといった芸術祭など、地域で行われる催し
- 屋外、公園、店舗などで開催される文化芸術に関するイベント
- 文化財などの観光地で行われるイベント など

文化情報プラットフォームの仕組み



文化情報プラットフォームの専用Webサイトから、発信したい文化イベント等の情報を簡単に登録することができます。また、文化プログラム(beyond2020)の申請もこちらのサイトからおこなえます。

文化情報プラットフォーム

文化プログラム
文化施設
文化団体

多言語(機械翻訳)
各種検索(地域・日時等)
編集・承認権限設定

beyond 2020 の申請・承認



オープンデータ

例えば...

- 観光系情報サービス
- 公共交通系情報サービス
- 地域情報発信メディア
- チケットサービス

オープンデータとして情報を公開することで旅行会社・公共交通・情報発信メディアなどの第三者が多様なサービスを創出することを期待しています。

まずは専用WEBサイトで登録から

文化情報ポータルサイト“Culture Nippon” <http://culture-nippon.go.jp>

日本にはたくさんの文化がある

アートフェスティバルや演劇祭、音楽祭はもちろんのこと、日本には、お祭りや年中行事等、地域で生まれ、受け継がれた多様な文化があります。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、日本の地域文化を再発見し、その魅力を国内外に発信していくため、文化庁では「文化情報プラットフォーム」の構築・運用に取り組んでいます。



Manga Designers Lab.

注)文化庁委託 平成28年度文化行政調査研究、「全国文化プログラム推進調査」での全国47都道府県へのアンケート調査結果を基にアーツカウンシル新潟がデザイン等を考慮して対象を決定しました。